



ごあいさつ

和歌山県高等学校PTA連合会
会長 福田雄介



令和6年度、本会の会長を務めさせていただきました。和歌山北高等学校PTA会長の福田雄介でございます。会員の皆様には、日頃よりPTA活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今年度は今まで通り様々な活動が開催され、活気のある声で溢れています。懸命に活動に取り組む生徒、そしてそれを応援する生徒の声援や涙は、見るもの全てに大きな感動と活力を与えてくれます。

多様な価値観や多様な背景を持つ方々と共に学び、共に成長することができる環境が必要とされる近年、本会においても、多様性を尊重し、共に理解ができることに積極的に

に取り組むとともに、子どもたちが異なる意見や視点を理解し共に助け合う力を育むためのPTA活動に取り組めます。全ての生徒が安心して自分らしさを発揮できる教育環境の整備へのサポートに努めていく所存でございます。

また、不登校の問題にも引き続き取り組んでいきます。不登校の背景には、多くの要因が潜んでおり、個々の生徒に寄り添った対応が求められます。PTAとして、学校と連携し、家庭と学校が一体となって子どもたちが再び前に進めるよう、支援を行っていく所存です。

さらに、近年増加傾向が止まらない、薬物の乱用につきましても防止の強化に努め、子どもたちが健康で安全な生活を送るために、正しい知識を持ち、自らの意思で危険を回避できる力を育むことができるように、PTAとしても地域や行政、そして関係団体等と協力し、薬物乱用の危険性について

の教育を充実させ、子どもたちの健全な環境と成長のサポートを続けたいと考えています。また、自動二輪や自転車など、安全教育にも力を入れ、より安心安全な高校生活を皆様と共に築いていきたいと考えています。特に自転車は、子どもたちの日常生活に欠かせない移動手段であり、安全に利用するための指導は欠かせません。PTAとしても、交通ルールの遵守やマナーについて、子どもたちと保護者の皆様に周知徹底を図り、安全教育の向上に努めてまいります。

結びに、高等学校PTAは子どもたちの成長を支えるため、重要な役割を担っております。学校と協力し、学校教育をよりサポートするため皆様と共に手を携え、学校教育と家庭教育とのパイプ役としてさらなる充実した社会教育団体を目指す所存でございます。子どもたちの未来をより良いものにするために引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。そして皆様の活動が、すべて子どもたちの笑顔に繋がっていくことを心から祈念し、挨拶とさせていただきます。

令和6年度 和歌山県高P連副会長の



本年度の高P連副会長、調査研修委員長を仰せつかりました。わからないことも多く、ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、みなさまのお力をお借りしながら一年間の職責を一生懸命に果たしたいと思っております。
よろしく願いいたします。
山本悌士 (田辺工業)

今年度、高P連副会長及び総務委員長を務めさせていただくことになりました。各校PTAの皆さんと協力しながら生徒たちが望む行事や活動を積極的に支援できればと思っております。
どうぞよろしくお願いいたします。
中本浩精 (紀北工業)

今年度、高P連副会長に選任され、進路対策委員長を務めさせていただくことになりました。まだまだわからない事だらけで不安な事も多いですが、子ども達の為に色々な活動が出来たらと思っております。
1年間よろしくお願い致します。
宮本優美 (有田中央)

高P連副会長を務めさせていただくことになりました。少しでもお力になれるようにと考えておりますので、よろしくお願い致します。
前地孝也 (申本古座)

本年度、高P連副会長、健全育成委員長を務めさせていただくことになりました。
わからないことばかりですが、1年間精一杯努めますので、皆様ご協力をよろしくお願い致します。
近藤一八 (和歌山東)

未来を担う子どもたちのために

和歌山県教育庁生涯学習局
生涯学習課課長 西川展子



県内各高等学校PTA

の皆様におかれましては、日頃より子どもたちの健全な成長を願い、学校教育の充実のために御協力をいただき、また、それぞれの地域においてPTA活動に積極的に取り組んでいただいておりますことに敬意を表し、心より感謝申し上げます。

近年、少子高齢化やグローバル化、情報化の中で子どもを取り巻く環境が大きく変化し、学校が抱える課題は複雑化、多様化しています。また、地域における教育力の低下や家庭の孤立化等の問題もある中、未来を担う子どもたちがそれぞれの可能性を最大限に伸ばすことのできる教育の実現に向け、県教育委員会

は第4期和歌山県教育振興基本計画に基づく具体的な取組を進めているところです。地域のこどもの成長を支援するためには、学校・家庭・地域それぞれが教育力を高め、互いに連携、補完していることが大事です。

現在、全ての県立高等学校において「きのくにコミュニティスクール」が導入されています。学校運営協議会と、幅広い地域住民等とともに地域全体で子どもたちの成長を支える「地域学校協働活動」をより一体的に実施していくことが、学校を核にした地域づくりの推進につながるかと期待します。

PTAは活動の歴史も長く、会員である大人が、子どもたちの健全な成長という願いのもとに強く結びついて、学校の教育活動に大きな力を発揮されています。また、過疎地活性化の成功例として知られている徳島県神山町の取組は、PTAで知り

合いつながった大人たちが立ち上げた活動に源流があります。PTAは、地域においてイノベーションを起こせるクリエイティブな活動組織、という捉え方もできると考えています。

このように、学校・家庭・地域の連携・協働のネットワークの一つに、PTAが明確に位置付けています。PTAの皆様には、学校運営に対する理解をさらに深め、積極的に参画していただきながら、未来を担う子どもたちがより安全・安心で心豊かに暮らせる地域社会の実現に向け、学校と地域の連携・協働の関係をより一層発展させていただくことを願っております。

最後に、和歌山県高等学校PTA連合会の一層の御発展と皆様方の御健勝と御活躍を祈念申し上げます。挨拶いたします。



第49回 近畿地区高等学校PTA連合会大会 京都大会

大会会場 国立京都国際会館
令和6年7月15日(月・祝)

7月15日(祝・月) 国立京都国際会議場において「不易流行

「変えてはいけないこと、変わらなくてはならないこと」のテーマのもと開催されました。近畿各府県市より現地参加が約110名、オンラインでの参加が112校。本県からは現地参加90名と2校がオンラインで参加しました。

歓迎アトラクションは、京都府立西城陽高校の合唱と、男子新体操選手とのコラボもあり楽しませていただきました。開会行事中に広報紙コンクールの表彰が行われ、古佐田丘中学校・橋本高等学校PTAが、奨励賞をいただきました。

続いて、変わり始めたPTA活動

信発

前年の滋賀大会、今年度の京都大会のテーマより、各府県市の単位PTAや連合会が抱えている課題と今後の活動についてのヒントになればと、京都府内5校と京都府高P連

の取り組み事例紹介がありました。

京都市立日吉ヶ丘高校のダンス部のアトラクションの後、記念講演が行われました。

「子どもの才能の見つけ方、伸ばし方」

講師は、全盲のピアニスト辻井伸行さんのお母様である辻井いつ子さんでした。

生後間もなく我が子が全盲とわかり、絶望と不安の中で子育てをスタートさせたこと。しかし、生後8か月頃に、我が子に音楽の才能があるので、はと思い、明るく楽しく、あきらめないをモットーに子どもの可能性を信じ、二人三脚で歩んで来られ、国際的に活躍されるまでになったお話でした。

子育てに迷った時は、常に自分を振り返る。目が見えなくても桜の花を愛でたり、花火と一緒に楽しんだり子どもが夢中になれることは、何でも応援し大切にされてきたそうです。

近畿地区高P連大会

- 兵庫大会 令和7年7月13日(日)
アクリエひめじ(姫路文化コンベンションセンター)
- 和歌山大会 令和8年7月4日(土)
和歌山城ホール



子どもにはどんな才能があるかわからないので、大人の考えだけを押し付けるのではなく、見守っていきことも大切。できないことを嘆くのではなく、出来たことを褒めて伸ばしてあげましょうと話され子育ての原点を教えてくださいました。

参加報告

第73回全国高P連大会2024茨城大会

大会1日目は、高校生によるアトラクションから始まりました。各分科会で催されたため全てを見れなくて残念でしたが、舞台上で堂々と発表する生徒たちの笑顔と元気が会場が熱気に包まれました。



分科会は「7男2女11人大家族 石田さんチ」のお母ちゃんこと石田千恵子さんのお話を聞かせてもらいました。テレビで拝見していた頃より少しお年を召した印象を受けましたが、お話が始まるとあの頃と変わわず、パワフルで太陽みたいな母ちゃんだと感じました。勢いよく「すぐに過去に

なるから今を大事にするんだよ」「なぜこうなったかと思うより何をするかだ！」子育ては「支えて背中押して自立させるんだよ」自分も子供も「人生なんでも楽しむこと」と話してくださいました。9人の子供の子育てもPTAの役員も忙しくても楽しみながらしてこられたんだなと思いましたが、現在は講演で全国を飛び回られたりボランティア活動をされたり思いを行動に移しかついている大人でバイタリテイと優しさを感じる講演でした。

2日目の全体会では、参加人数多数でメイン会場に入れず別会場でモニター越しに第72代横綱稀勢の里、二所ノ関親方の講演を聞きました。私事ですが、息子が相撲部という事もあり興味津々でした。現役引退後に早稲田大学大学院に入学され、そこでの学びが大きく今の人生に大きな影響を与えているというお話にびっくりしました。スポーツビジネスの三大要素を満たすことができる

と東京ではなく茨城に相撲部屋をつくり、育成方法として、2面土俵、休みの日をつくる、1日3食たべるなど新たな試みを取り入れながら伝統も大切にされている所がすてきだと思いました。相撲の世界は厳しいイメージがありますが、無茶をするのではなく、けがのない体づくりをして弟子の変化に気づけば目を見て話し聞くようにしている親方の決意と温かさが伝わってくる内容でした。2日間の講演を聞いて、チャレンジしていくことが人生を変えたり新しい気づきになるんだなと思いき、柔軟な考えをもちポジティブ思考で子育てして伝染させていきたいと思えました。



(報告) 箕島高等学校PTA 会長 中本 美喜子

8月22日(木)から23日(金)の2日間にかけて、第73回全国高等学校PTA連合大会2024茨城大会に参加し、歴史の町で変革を!!新たな時代が目に入らぬかを大会テーマに歴史ある町で新たな視点や知識を得る貴重な体験をさせていただきました。



私たちは和歌山工業高校は初日第5分科会に参加しました。テーマは、「これからのコミュニティ・スクール」地域社会と新たな連携、協働で、文部科学省国立教育政策研究所総括研究官志々田まなみ先生の講演でした。近年、和歌山でも取り組

まれているコミュニティ・スクールや学校運営協議会についてのお話でしたが、「高校のコミュニティ・スクールとは」という中で、私が一番初めに実際和歌山工業高校で行っている学校運営協議会の内容を説明しました。当校の協議会の構成は、商工会議所、和人大教授、海南市中学校校長会、企業、育友会、同窓会、学校関係者となっており、大きな範囲でより良い子ども等々について話し合っている旨をお話しました。志々田先生のお話でも、平成18年の教育基本法第13条の改正により学校主体から地域をまき込み子どもを育てるといいう方針に変わり、教員ではなく社会人が教わるなど子どもたちが変わるタイミングも大人が関わることにより地域とのつながりもでき、問題に直面した自身がやり直すことができる。といった研究結果をお話いただきました。

私たちの協議会での実践は間違っていないと実感いたしました。講演の後半でもありましたが、私たちも行っている現役の生徒たちとの意見交換会で学校や親に対する要望を聞き、こちらの要望も

伝えるといったことも重要ということも再確認いたしました。2日目全体会では、元横綱稀勢の里の二所ノ関親方の講演があり、「人材育成の不易流行」という演題でした。親方も現役引退後大学でスポーツ科学を学び、弟子を育てていく上で、いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものを取り入れていくといったことを実践しているということをお話いただきました。

充実した2日間であったものの、ひとつだけ残念なことがありました。初日の会場は水戸からのシャトルバスはありましたが、最寄り駅であるJR羽鳥駅からのアクセスがなくて自分たちを含め県外からきた人たちは迷っており暑い中30分以上かけて歩いている人もいたのでもっと考えてほしいと思えました。2年後の近畿大会(和歌山大会)ではこのようなことのないよう十分注意検討していかなければならないかなと実感しました。

(報告) 和歌山工業高等学校育友会 会長 前田 隆一

令和6年度和歌山県高P連総会開催

6月8日(土) 和歌山県民文化会館において令和6年度定期総会を開催しました。

開会行事に続いて令和5年度の事業報告・決算が承認された後、6年度も福田雄介会長の統投と6年度の事業計画や予算等が承認され閉会しました。



合同専門委員会

8月8日(木) 和歌山県民文化会館において、合同専門委員会を開催しました。

事務局より今年度の行事予定等の説明の後、5つの専門委員会に別れて各委員会で活発な意見交換が行われました。



編集後記

会員の皆様には、日頃よりPTA活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

猛烈な暑さが続く中、開催された第49回近畿地区高等学校PTA連合会大会京都大会や第73回全国高等学校PTA連合会大会茨城大会も示唆に富む素晴らしい大会でした。参加いただいた皆様お疲れ様でした。

さて、本連合会は、全国的にもPTA活動に逆風が吹いている現状であります。が、昨年度に引き続き『学校、家庭、地域や関係団体との連携強化に努め、開かれた学校づくり、特色ある学校づくりに積極的に協力するPTA活動』を目指して活動していきます。ご理解、ご協力のほどお願いします。

さらに令和8年7月4日、和歌山城ホールにて第51回近畿地区高等学校PTA連合会大会和歌山大会の開催が予定されています。和歌山県高等学校PTA連合会が一丸となって大会を意義あるものにするため準備に取り組んでいきます。皆様方のご協力をお願いします。

最後に、本号の作成に際し、ご協力いただいた皆さんに心から感謝申し上げます。

(事務局長)

和歌山県高等学校PTA連合会推薦 中学生・高校生総合保障制度

もしもの時は、スピーディーに
保険金をお支払いします!



デジタル保険金請求

ケガによる入院・通院、病気による入院・手術、持ち物の損害[※]は

オンラインで簡単請求

24時間365日 いつでも、どこでも受け付けます!

簡単支払特急便

ケガによる入院・通院、病気による入院・手術で10万円以下のご請求は

電話による事故報告のみ

受付時間 月～金曜日 9:00～17:00(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご利用には条件がございます。ご利用条件とご利用方法は、ご加入後に送付する加入者証でご案内します。
※ 持ち物の損害は「学校管理下動産補償特約」「携行品損害補償特約」が付帯されているプランの場合にご利用いただけます。

引受保険会社
AIG損害保険株式会社 和歌山支店
〒640-8355 和歌山市北ノ新地1-25
(AIG和歌山ビル3階)
TEL 073-432-5641 FAX 073-428-2335

取扱代理店
フォーユー有限公司
〒640-8203 和歌山市東蔵前丁4番地
(ファーストビル6階)
TEL 0120-175-688

